

平成20年度

多可町の教育の点検及び評価

報 告 書



平成21年6月

多可町教育委員会

目 次

ご あ い さ つ

は じ め に

I. 気持ちよく、安全・安心な学びの場の環境整備	【管理では】
学校施設整備事業	I－ 1
児童・生徒の安全・安心対策事業	I－ 2
安全で安心な学校給食の提供	I－ 3
ガルテン八千代テニスコート改修工事	I－ 4
教育委員会運営事業	I－ 5
II. 感動与える教師力の向上	【学校教育では】
兵庫教育大学大学院との提携【新規】	II－ 1
児童生徒の実態把握に基づく教育の推進	II－ 2
学校評価の実施及び公表	II－ 3
地域人材の登録及び積極的活用の充実	II－ 4
多可町コミュニティサポート推進事業の拡充	II－ 5
高校生（専門学校含む）への奨学金給付基準の緩和	II－ 6
数学・英語・漢字検定料の一部補助の継続	II－ 7
スクールアシスタントの配置	II－ 8
教職員の資質向上のための研修制度の充実	II－ 9
学校間の交流授業の充実	II－ 10
特別支援教育の充実	II－ 11
小学校英語活動のさらなる充実	II－ 12
思春期の「ライフスキル教育」の推進	II－ 13
III. かかわり、学びあい、支えあう「創造」の場の提供	【家庭教育では】
家庭の教育力アップを図る「親業講座」【新規】	III－ 1
子どもたちの安全・安心の「見守り・安全巡回パトロール」【新規】	III－ 2
「子ども憲章」の啓発・支援の推進	III－ 3
IV. とともに学び、ともに行動できる「協働」の環境づくり	【社会教育では】
グラウンドの夜間照明料免除の実施【新規】	IV－ 1
多可町生涯スポーツ振興基本計画の策定・実践【新規】	IV－ 2
「アスパル体操」“リラックスバージョン”の普及【新規】	IV－ 3
隣保館出前講座等の開設【新規】	IV－ 4
住民学習（人権教育・啓発事業）の充実	IV－ 5
スクラムハート・プロジェクト（消防団と中学生の交流）の推進	IV－ 6
国際教育交流の充実	IV－ 7
魅力あふれる（開かれた）図書館の充実	IV－ 8
「歴史・伝統文化・自然・交流」を柱に体験イベントの充実	IV－ 9
芸術・文化活動を通じ、文化の香るまちづくりの推進	IV－ 10
放課後子どもプランの展開	IV－ 11
公民館の「学問所」の充実	IV－ 12

ごあいさつ

教育基本法（平成18年12月）の改正を受けて、その理念を踏まえた教育三法の一部改正、新しい学習指導要領の告示、そして「教育振興基本計画」の策定など、現在の社会環境から先を見据えた教育の重要な改革が行われています。

多可町教育委員会においても、「こころ豊かで（優しさと思いやり）、かしこい・そして心身ともにたくましい人づくり」を目指すために毎年、重点施策を策定し取り組んでいるところであります。

このたび地方教育行政の組織及び運営に関する法律（地教行法）の一部改正（平成19年6月）が行われ、平成20年4月1日から「教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに公表しなければならないこと」とされました。

また、点検及び評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する者の知見を活用することとしています。

これを受けて多可町教育委員会では、同法の趣旨に基づき平成20年度の教育行政の執行状況を「事務事業評価シート」で自己点検及び評価し、その結果を学識経験者に見ていただき、その評価内容の客観性の検証と、改善に対する助言を講評としていただくこととしました。

今後、この評価結果を多可町の教育行政サービスの資質の向上と効率化の実現、徹底したコスト削減を進めるとともに、町民の皆様への説明責任を果たすため、このたび報告書にまとめました。

町民の皆様に、各事業がどのように展開され、どのような進捗状況であるかをお示しし、広くご意見をいただくによって、開かれた教育委員会を実現してまいりたいと考えておりますので、今後ともご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年6月

多可町教育委員会

はじめに

○点検評価の対象

点検・評価の対象は、平成20年度多可町の教育重点施策の33事務・事業としています。

○点検・評価の方法

点検・評価にあたっては、多可町総合計画の位置づけと、PDCA（Plan, Do, Check, Action）方式で、各事務・事業を「事務事業評価シート」を5段階評価により自己点検、評価しました。そのシートを評価委員に確認していただき、意見もいただきました。

また、点検・評価に客観性を持たせるため、教育に関して学識経験を有する方に講評をいただき、「平成20年度多可町教育委員会事務事業評価票」を作成しました。

評 価 値

5	目標の達成を大きく上回って達成されている
4	目標以上に達成されている
3	目標は達成されている
2	目標の達成がやや不十分である
1	目標の達成が不十分である

○評価委員

盛 田 義 宣 浄土宗西山派宗会議員、多可町社会福祉協議会副会長、加美区地域協議会委員、元小・中学校長、元人権啓発推進専門員
常 陰 則 之 兵庫県立舞子高等学校長（前兵庫県立多可高等学校長）

○点検・評価の構成

1. 項目
点検・評価の対象を「平成20年度多可町の教育重点施策」の大きな柱4つを基に33項目を点検、評価しました。
2. 事務事業名等
主な施策、事務事業名を掲げています。
3. 事業内容・実施状況
事務事業評価シートに記載。
4. 評価
平成20年度の取り組みについて、第1段階として内部で点検・評価し、そのシートを基に外部評価委員による意見、講評をいただきました。

○公 表

平成21年6月の議会へ提出し、また多可町ホームページへ掲載し、町民の皆様への公表とさせていただきます。